

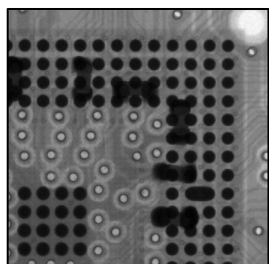
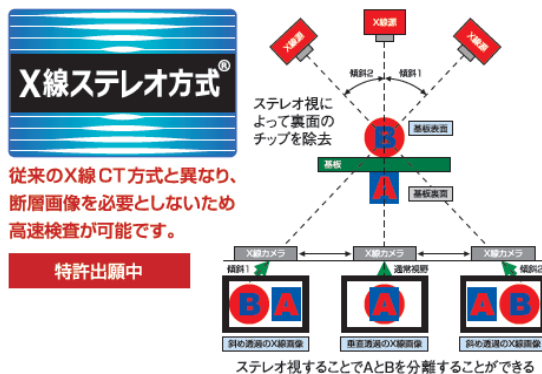
平成24年度「9都県市きらりと光る産業技術」

神奈川県代表 「X線ステレオ方式®」による 3次元実装検査装置

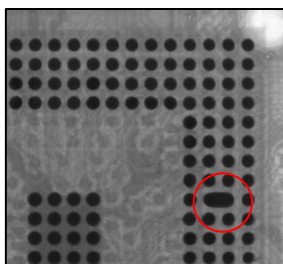
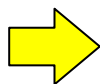
【株式会社アイビット】

【特徴】

- ・ X線を複数の傾斜方向から照射し、画像処理で任意の深さの面の画像を得る「X線ステレオ方式®」を開発。
- ・ 従来のX線透過画像では、各層の接続部が重なってしまい、検査が困難だった多層の電子回路基板を効率よく検査できる。



X線透過撮影画像
黄色の部分は層が異なるので不良でない



X線ステレオ撮影画像
赤色の部分は接続端子の短絡(ショート)欠陥



X線ステレオ方式®を用いた3次元実装検査装置

【効果】

《 X線ステレオ方式®と従来のX線CT方式の比較 》

| | X線ステレオ方式 | X線CT方式 |
|---------|---------------------------|------------------------|
| 検査時間 | 速い(4秒/視野) 全数検査で利用 | 遅い(10分/視野) 不良解析で利用 |
| 大きさ | コンパクト (重量1 t) | 大型設備 (重量3~5 t) |
| 取得できる情報 | 各層の情報は取得できない 任意の層情報を取得 | 各層の詳細な情報を取得できる |
| コスト | 低コストで導入可能 (3000万円以下) | 高額システム (7000万円~1億円) |

『第28回神奈川工業技術開発大賞』受賞

※)X線ステレオ方式]は株式会社アイビットの登録商標です。